

昨年のお阪・関西万博で話題になった「人間洗濯機」。もともとは展示物でしたが、なんとアメリカ企業5社に納入する予定だとか。この洗濯機の原型は1970年の大阪万博で披露された、カプセルに座るだけで体を洗ってくれる未来型「全自動お風呂」。昭和が夢見た未来が令和になってまさかの商談成立とは驚きですね。

マツスタ客席スタンド



梅雨も明け、清々しい夏空の広がるこの頃、途端にこの暑さとなりましたが、お障りなくお過ごしでしょうか。 昼間はもちろん夜になっても蒸し暑い日々に早速うんざりしています。

水分補給と休息を大切に、美味しいウナギでも食べて暑い夏を乗り切りましょう！



さて、我らがカープ。

7/15 DeNA 戦、6 安打一挙5 得点で大逆転勝利を収めた。 試合自体は良かったが、ふとスタンドに目を向けると、あまりのガラガラさに寂しさを隠せない。 Yahoo!ニュースでも2 日連続で入場者数が2 万人を下回ったことが報じられていた。

広島は夏は本当に暑く、ナイトゲームでも湿気が高く、球場で応援していると汗だくになる。 しかし、3 連覇の頃も広島はやはり暑かった。 それでも

球場は連日の超満員で、誰もが汗を流しながら声を枯らして応援していた。 暑さは確かに一つの要因だが、それ以上に球場へ足を運びたいと思わせる何かが、今は少しずつ失われている。

近年のカープは苦しいシーズンが続いている。 勝てそうな試合を落とし、流れをつかめない試合も少なくない。 が、今のカープに全く魅力がないとは思わない。 育成出身の名原や大盛が必死にプレーする姿は頼もしい限りで、一軍に定着しようと必死にもがく選手たちを見ていると、自然に応援したくなる。 スター選手がいらないから客が入らないという単純な話ではない。

逆に他球場のビジター席には驚くほど多くのカープファンがいる。 ビジターでも決して勝っているわけではないが、それでもファンが集まり、赤いユニフォームを着て声援を送り続けている。

あの空席はフロントへのメッセージなのではないか。 先月号でも触れたが、今年は開幕前からゾンビタバコを巡る事件が報じられた。 報道されている以上のことは知る由もないが、球団として語るべきことがあるはずだ。 調査をすると発表した後、ファンが納得できるような説明もない。 今も疑心暗鬼のまま、モヤモヤしたまま、そんなファンの気持ちがああの空席には表れているように感じる。 —野球選手は、子どもたちの憧れや手本であるべきだ—

本当に心配しているのは来年で、もし年間指定席そのものが売れなくなったら、球団はどうするつもりなのか。 カープは市民に支えられてきた球団である。 今こそファンの声に耳を傾けるべきだ。 ファンが安心して応援できる環境を作してほしい。

頑張れカープ！！

エルフォルクはあなたを そしてカープを 全力応援致します！

裏面もご覧ください。